

第3回熊本市歴史まちづくり協議会 議事録

【日 時】 令和元年11月18日(月)午後3:00～4:30

【場 所】 熊本市役所 議会棟 2階 議運・理事会室

【出席者】 全9名中8名出席 ※以下、敬称略

委員

猪飼 隆明 (会長)
伊東 龍一 (副会長)
大森 洋子
鄭 一止
上村 元三
宮本 茂史
吉村 圭四郎
中村 誠希

【次 第】 1 開会
2 議事
(1) 前回議事の確認
(2) 文化財の保存又は活用に関する事項について
(3) 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項について
(4) 歴史的風致形成建造物に関する事項について(非公開)
3 閉会

【配布資料】 ・会議次第
・議事資料
・別紙1：第2回熊本市歴史まちづくり協議会における委員意見と対応状況

<議事概要>

事務局：

議事（１）（２）（３）を事務局で説明後、質疑応答。

猪飼会長：

いま、説明のあった議事について、以前の会議以降修正された点などご説明がありましたが、それも含めご質問・ご意見等ありましたらお願いいたします。

大森委員：

重点地域の範囲について質問ですが、城下町地区においては藤崎八幡宮の例大祭などをメインにされていると思いますが、重点区域には入っていないのでしょうか。

事務局：

現在の重点区域には、藤崎八幡宮は入れておりません。重点区域の設定の考え方としては、下通りや上通りなどの街なかには賑わい創出というところで、建物の発展を目指しているところですので、今回の歴史まちづくりの中で重点的にハード整備などを行っていく地域としては、今設定している区域で行っていきたいという考えとなります。

大森委員：

藤崎八幡宮は随分後に今の位置に移動されたと聞いておりますが、ここを出発して大祭が行われるのに、ここが入っていないのかと思いましたが。前回議論が行われていたか分かりませんが、腑に落ちないと思いました。

猪飼会長：

この点については前回議論していません。前回異論は出されなかったかと思いましたが、資料の地図の紫色で示された新しく追加された部分も含め、どうでしょうか。例大祭そのものは以前から藤崎八幡宮が出発点ですし、西南戦争の後に移動されているので、城下町とは同じように論じられない部分ではありますが、祭りの点でいうと今の指摘はありうると思いましたが、どうでしょうか。

大森委員：

せめて藤崎八幡宮とそのルートを重点区域に入れるということはできなかったのでしょうか。

宮本委員：

元々西暦 700 年代に始まった藤崎宮が明治 10 年の西南戦争で移ったということで、馬追いとしては各種団体や、校区の方からお祭りに参加されていることが多いですが、元々新町地域で行われていた獅子舞や、各町からは町鉾を奉納していますが、元々の氏子として、鳥居本として奉納を続けているということと、獅子舞は無形文化財として 400 年の歴史があるということで、新町の住民としては自分たちの祭りだと表現をする場合もあります。ただし、明治 10 年から 140 年経って、今後この祭りをどういう風に扱っていくかというのは藤崎八幡宮の中でも色々な協議があっているかと思いましたが、今回の重点区域としては、やはりこの例大祭をベースに自分たちのアイデンティティを持っているところではあります。ただし、例大祭が熊本市の祭りなのか、新町の祭りなのかというところの扱いによって、この重点区域の扱いも変わってくるのかと思えます。

大森委員：

藤崎八幡宮を入れないのであれば、例大祭ではあるものの、獅子舞や町鉦を入れていただいた方が、通常随兵行列となると藤崎八幡宮から出ていくものという認識になるので、それに関する説明が入っておかないと誤解を与えたいと思います。

猪飼会長：

他の方もご意見どうでしょうか。重点区域のエリアとして含めるとなると、幅が広がって別の要素も入ってくることになると思いますが。

大森委員：

他の都市で、参道と神社を細く繋いで重点区域にいれた事例があります。ですので、随兵行列と藤崎八幡宮を入れることができるのかなと思ったのですが、市街地に入れるのが難しいのであればそれで構わないと思います。

事務局：

藤崎八幡宮の例大祭ということで、歴史的風致としては例大祭の随兵行列についてもその要素として入れているところですが、ただし重点区域として設定する際には、今後何か整備を行うかどうか条件となっておりまして、今除外している範囲は、歴史的建造物が少ない地域ということで除外しているところでございます。

猪飼会長：

今話を聞いていかがでしょうか。

大森委員：

建造物はなくても、道路の整備や、例大祭の重要なルートだということを表すような整備ならできると思いますが、目的がそういう整備ではなく、建造物の修理・修景となればそれでも構わないと思いますが、核となる藤崎八幡宮が入っていないのは気になりますので、説明文を変えていただくといいのかなと思います。

猪飼会長：

例大祭のルートは毎年変わっていないのですか。

宮本委員：

多少変わることはありますが、大きな範囲では変わっておりません。時代的に何年前からのルートになっているかは私の方では把握はしておりません。

吉村委員：

大森委員がおっしゃるのは、資料の中に例大祭の様子として藤崎八幡宮の参道とかが出てくるのが、場所が違うのではといった内容でしょうか。

大森委員：

参道などの写真を使って歴史的風致と言われるのは問題ありませんが、重点区域でないハードの整備ができないということもありますし、建造物だけでなく、ルートや藤崎八幡宮自体の整備もやる必要があるかと思ったので、重点区域に入れたい方がよいと思い発言いたしました。

吉村委員：

現在、藤崎八幡宮が入っていないので、取り扱う写真とかを新町自体の祭りの雰囲気分かる写真などを説明としてもってきた方がよいと思います。

猪飼会長：

積極的なご意見ですので、文言含めて文章を考えていってください。その他、川尻の新しい範囲についてはどうでしょうか。

吉村委員：

広がる分については異論ありません。駅周辺を入れるということで広げたのかと思います。

猪飼会長：

エリアとしてはすっきりしたと思います。

吉村委員：

追加した部分は、昔の椎田村で旧川尻町の外ではあります。江戸時代の川尻町からすると別のものになりますが、河尻神宮まで含め一緒にしようということですが、特に問題はないと思います。明治になってここは八幡という地名に変わりますが、その一部が入っているということです。

猪飼会長：

わかりました。こういう範囲になることは問題ないということですね。他に確認したいことはありますでしょうか。

鄭委員：

歴史的風致に直接関係することではありませんが、新町・古町は街なかの住宅地としての位置づけもありますが、住民にとっての居場所である公園が少ないと言われています。そういう面から、事業の空地等活用事業や道路空間整備事業などありますし、また坪井川沿いの話も書かれています。オープンスペースに関する意識されていますでしょうか。

事務局：

今挙げています空地等活用事業に関して、今後オープンスペースとしての使い方を検討していかないといけないとは考えておまして、空地等という書きぶりの中で、空地や駐車場、公園も含め、現時点で全ての課題を把握しているわけではありませんが、課題の抽出の中で、オープンスペースとしての活用の仕方や、また駐車場についても全てをなくすかということではないでしょうか。そういったものが共存する中で、どういったまちづくりを進めていくべきかを考えていく必要があると思っています。

猪飼会長：

旧城下町は公園は元々視点にないですもんね。公園は近代の産物ですので。そういった意味では近代では都市化していくところに、公園を作っていくというのが普通だったのかと思う。そういった意味では課題でしょうけど、保存することと新しく作ることの兼ね合いが大きな問題だと思います。

上村委員：

歴史的に考えれば、古町の一町一寺は、昔はおそらくお寺が公民館的な役割を担っていたと思うので、今は協力されるお寺も少ないかもしれませんが、歴史的風致ということで今後何か

しらのアクションがあればいいなと思いました。元々おてもやんがお参りしていたとされる普賢寺さんでお祭りをさせていただいたこともありますし、他にもいくつかあるので、広場としての使い方もできると思います。

猪飼会長：

お寺で言えば、後継者不足という問題もあるので、地域に支えられてそういう役割を演じるようになれば、もっと大きな意味を持つし、受け継ごうと思う人も出てくると思います。新しい試みとしては、あちこちで若い僧侶たちがそういうことをやられているところもありますし、いいご指摘だと思います。

猪飼会長：

先へ進んでよろしいですか。それでは次の議事（４）に移りたいと思います。

議事（４）については非公開審議事項のため省略。

以上